

## 各地区業況アンケート結果（2022年12月調査分）

（2022年12月19日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、12月16日締切で当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ61名の回答があり（回答率43.3%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、(数は回答実数)

### 1. 5割の企業が売上数量ほぼ横ばい

問1】貴社の11月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	9	6	31	9	5	60	70
比率	15%	10%	52%	15%	8%	DI+8	DI-13
売上金額/前年同月比	25	13	15	4	3	60	71
比率	42%	22%	25%	7%	5%	DI+88	DI+69

### 2. 前月に続きDI値三桁、収益状況は良好

問2】貴社の11月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	23	20	14	4	0	61	70
比率	38%	33%	23%	6%	0%	DI+102	DI+106

### 3. 全向け先低調のまま

問3】貴社の営業窓口から見て12月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		8	23	7	4	42	-17	-4
民間建設向		13	23	11	2	49	-4	+13
自動車向		2	20	8	2	32	-31	-15
その他需要家向	1	2	36	9	2	50	-18	-4
仲間取引		5	29	10	5	49	-31	-33
計	1	30	131	45	15	222	-19	-8
比率	0%	14%	59%	20%	7%			

### 4. 来期もあまり盛り上がりならず

問4】貴社における向う1月から3月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	10	25	17	8	61	70
比率	2%	16%	41%	28%	13%	DI-34	DI-19

## 5. 鋼板類、引き続き過剰ぎみ

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	品種別	A	B	C	D	E		12月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-15	-17	-10	-10	-10	-3	-12	-21	-4	-17	-8	-14	鉄筋用丸鋼			22	1	1	24	-13
-3	-7	-3	-14	-23	-7	-14	-23	-21	-15	-17	-17	構造用丸鋼			22	4		26	-15
-10	-9	-9	-10	-6	-11	-17	-19	-15	-9	-15	-9	平角鋼			26	4		30	-13
20	7	0	-10	-7	0	3	14	14	7	4	8	H形鋼		1	23	3		27	-7
88	91	13	19	30	39	30	19	33	27	33	26	コラム		3	15			18	17
-11	-6	-15	-21	-11	-26	-30	-23	-18	-14	-18	-16	小形山形鋼		2	24	3		29	-3
-11	-6	-18	-21	-12	-22	-28	-32	-20	-19	-25	-12	中形山形鋼		2	22	6		30	-13
0	-6	-9	-9	-15	-19	-27	-18	-15	-15	-16	-3	溝形鋼		5	18	5		28	0
19	0	0	-4	-10	-6	-15	-14	-15	-14	-13	-15	軽量形鋼C形		1	20	4		25	-12
-5	6	0	-6	0	0	-13	-12	-13	-17	-6	-6	軽量形鋼広巾			13	1		14	-7
45	24	3	-41	-39	-33	-61	-61	-63	-67	-52	-57	冷延薄板			15	8	1	24	-42
35	17	-17	-33	-20	-23	-44	-41	-45	-56	-45	-63	熱延薄板		1	17	7	2	27	-37
59	47	21	-24	-30	-26	-41	-34	-48	-56	-26	-30	表面処理鋼板		2	18	9	1	30	-30
47	15	-15	-27	-35	-31	-57	-64	-79	-81	-56	-70	酸洗鋼板		1	8	12	1	22	-59
30	10	-13	-18	-14	-9	-33	-37	-46	-36	-42	-46	中板			19	12		31	-39
53	26	-3	-5	-10	-23	-27	-35	-38	-33	-30	-27	厚板			22	11	1	34	-38
35	26	9	18	-6	-17	-6	-12	-12	-17	5	0	極厚板		1	11	4		16	-19
7	14	3	-7	-3	-13	-23	-21	-21	-25	-12	-19	縞板			20	5		25	-20
21	16	0	-3	-3	6	-3	-3	-13	-6	-14	-14	中径角			24	4	2	30	-27
23	6	-3	0	-14	-6	-6	-9	-12	-20	-9	-13	ガス管黒		1	25	5		31	-13
19	13	0	0	-9	-3	-6	-6	-10	-16	-3	-13	構造用鋼管		1	22	5		28	-14
21	12	-4	-12	-13	-13	-22	-23	-24	-25	-20	-21	計	0	21	406	113	9	549	-20

## 6. 秋需も少なく季節的要因で荷動き低調

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	(形鋼) 12月に入り、雪景色となり荷動きは低調。暖房、運送など燃料も高止まりのまま、経費増の季節を迎える。在庫簿価も最新となり、積み残し値上げを加速させたい。
	B	仕事が薄く、信用不安も出てくるだろう。
	C	北海道の丸棒は閑散期に入った。高値継続のまま。スクラップは下降気味だが、冬期に下がる様子はない。
	D	在庫販売の中心となる中小案件の減少で苦戦している。未転嫁分について少しずつ進めているが収益面もかなり厳しい状況。
	E	地方では扱い量が減っているため仕入の荷物が集まらず車の便数が減って苦勞している。
東北		統計で発表されている景況とは異なり、地域的には秋需も少なく、結果、数量、売上も大幅に減少。また、弱含みで推移する価格とは別にコスト高を要因とした値上げの声が各方面から聞こえており、今後、それらをいかに反映させていくかが課題。

新潟	A	メーカーからの入荷は順調だが、倉出しは前年と比べて減少している。建築、土木とも目立った物件が非常に少ない。
	B	構造用鋼は建機・作業工具向けを除いて低調のまま推移。当社販売のほか鋼種、鋼管・磨棒鋼・平鋼に比べて構造用鋼の落込みが特に大きい。
	C	建築需要は季節的要因でやや減少するかもしれないが、先々を見据えれば堅調に推移しそう。公共工事は国交省の受注分はあるが、新潟県、市町村発注の土木工事は大幅減少している。
	D	建築需要は順調に推移しているが、人手不足や調達難により他産業は引合いが少ない。価格も高炉と電炉の価格差に加え輸入材も懸念材料となっている。
	E	部品調達難は変わらず全体的に荷動きが悪い。中国のゼロコロナ緩和が良い影響を及ぼすことに期待。
	F	12月に入り荷動き低調。1月からの仕事量は不透明。
	G	引合い減少。価格も品種によって弱含み。
神奈川	A	(厚板)在庫の過剰感が続いている。鋼材価格、市場動向など不透明で予想が困難な状態が続いている。
	B	業界により濃淡があり、トラック関連はH社不正問題から小型車の生産は戻りつつも他車種は不透明がある。シャーシ不足で受注残が増えており、1年分溜まっている車種もあるので受注に落ち着きがみられるようだ。価格についても販価是正の動きをするも引合い鈍く横ばい状況。
東京	A	需要がなく、引き続き在庫消化を目的とした安売りに市況が影響を受け採算の悪い販売が目立つ。
	B	鋼板の需要は引き続き低迷。既に熟延、酸洗、冷延については市況が下がっており、ここまでこらえてきた表面処理(亜鉛メッキ材)についても安価な輸入材に引きずられる形で下げざるを得ない局面になりつつある。10月末薄板三品在庫は減ってきたとはいえ、439万5千トン。まだまだ全く多すぎる数字。高炉メーカーはバンキング(休止)なり更に蛇口をふさぐ対策をとる必要がある。
	C	(店売り関連)サプライチェーンの正常化の遅れ、中国ゼロコロナ政策の影響もあり、メーカーのタイト感もなく売上、出荷量ともに減少となった。(建設機械)建設機械は引き続き好調を維持している。下期も引き続き好調を維持できそうな予測である。
	D	11月は売上高・販売数量ともに増となった。売上に対しての販売数量は少なく商いとしては弱い状況が続いている。夏以降に比べ一段と忙しくなったと感じるが秋需を感じるには至っていない。先行きの不透明さは増しているように考えている。
	E	店売り向けは変わらず低調。建築向け加工品は動いている。中小物件も少しは出ているのではないかと。建産機やトラック関係も好調を維持している。
静岡	A	年末の繁忙期はなく、荷動きの停滞感、在庫の過剰感は増している。材料の値上げは動かず、加工賃も下落気配が窺える。価格転嫁の積み残し、与信問題など年末年始に良い材料も少なく我慢の年越し。
	B	大手ファブは北陸、東海、関東、信越、東北、北海道地区はどこの情報も全く同じ。2023年秋口まで受注確保している。2023年は鉄鋼流通加工業のグループ化が進みそうである。地場の状況に大きな変化もなく、活況感はない。地場は後継ぎの問題がよく話題になる。総じて良い年越しになるだろう。年末に向けて不良債権の発生はないと思われるが注意が必要。
石川		地場の建築物件は縮小気配だが、県外から移築、増築、進出など不動産価格と人材確保、住みやすさ(都会地区と比べて)を求めて移ってくる企業が増えている。これも交通インフラの利便性がよくなったためである。当地区に関係は少しあるが、全国に単線でも土盛でも良いから整備新幹線網を完備すべきである。早急に実施しないと都会地集中が更に進み、狭い日本が歪な形になってしまう。無理かもしれないが、コンビニを禁止して商社街の活性化も願う。

富山		土木関連の出件が増加している。建築案件は大・中・小ともに下火である。値下げと値上げについては、理解を示すものの安価な電炉材へのシフトにより品質不良のクレームが増えそうである。
大阪	A	インバウンドも戻り始めている様だが、好影響を与えているほどではまだない。市場相場は電力などのコストアップも考慮しながら下がっていく警戒もしている。方向性が読みにくい時世だ。
	B	(棒鋼) 新規物件が少なく一部で安価も出ているが、メーカーとの乖離がある。鉄スクラップの価格上昇局面にもなり、より慎重な対応や見定めが必要である。
兵庫		若干安売りをする店が増えてきている。先安の不安感と現状の販売量減のためだろうが、出来る限り現状単価を維持するように努めたい。
岡山		小さな鉄工所でも少し大きい所の買収を受けると言った案件が続いている。後継者不足問題が大きい。鋼材販売は需要が今一つ。値下げして売れるものなのか疑問である。鏡板の業界は各社値上げがバラバラなのか、体力差があるのか差が開いている気がする。
北九州		建築の物件引合いは堅調。倉出しは減少。販売価格は上げ切れていない状況が続いている。
福岡		末端需要に精細を欠き、荷動き悪く低位横ばいで推移。秋需もなく復調の兆しもないまま年末を迎えた。自動車生産回復を待つ早一年経過した。来年1～3月の高水準な計画の現実化を気合したい。